

建学の精神	『以愛為園』 「他人を受け入れ、人に対する思いやりをもった人間が育つ学園＝共同体」		
ミッション	(ディプロマポリシー) グローバルな視野に立った教養を基礎とする専門的知識・技術を修得し、国際社会において活躍できる人材を育成する (自律性、社会的貢献性、多様性理解、問題発見・解決力、コミュニケーション能力、専門的知識・技能の活用力を修得・涵養し、総合的に活用できる人材を育成)		
ビジョン	将来予測の困難な社会で安全で安心な世界・社会づくりに能動的に参画できる <グローバルマインド&アクション(体験と行動の関西国際大学)>		
方策	先進的教育プログラムの質的充実 (教育力の強化)	グローバル化社会に貢献する国際大学 としての役割強化 (国際通用力の強化)	安全・安心を育む社会に対応できる人財の育成 (危機管理マインドとマネジメント能力の育成)
手段	<p>◆1-1:アドミッションポリシー(AP)で定められた選抜方法で入学してきた学生が、卒業時にディプロマポリシー(DP)を達成し身につけるための流れとしてカリキュラムポリシー(CP)が機能しているかを確認するための評価指標を開発し、年度ごとにチェックを行う</p> <ol style="list-style-type: none"> カリキュラム改革に合わせた先進的教育プログラムの質的改善(教育福祉学科) 教育の質保証にむけた評価制度の構築(高等教育研究開発センター教育開発部門) CP達成を目的としたカリキュラム構築のための体制確立とカリキュラム点検(カリキュラム委員会) アセスメントポリシーの実質化を含めたDP,CP,APの評価(評価センター) <p>◆1-2:学生が、4年間を通した学びや経験の計画を立て、実行し、ふり振り返り、評価するサイクルを組織的な運用で確立させる</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業外でのフィードバックを強化し学生の英語力を高める(英語教育学科) 学修支援における学生カルテの活用(学修支援センター) ICTの効果的活用によるeラーニングの体系化(高等教育研究開発センター教育開発部門) <p>◆1-3:学生一人ひとりが“評価”とはなにかを理解し、“振り返る”ことの重要性を認識することで、学生自身の自己評価能力を向上させる</p> <ol style="list-style-type: none"> 「評価と実践」の安定的運営と成果達成(グローバル教育推進機構) <p>◆1-4:問題解決能力の重要な要素である客観データに基づく論理的な議論のための能力である「数理的な能力」を身に付ける教育プログラムを開発し実践していく</p> <ol style="list-style-type: none"> 共通教育課程の見直し(グローバル教育推進機構) 基礎学力の向上をはかる(経営学科) <p>◆1-5:専門知識の総合的活用能力を評価するためシステムを強化し、運用につなげる</p> <ol style="list-style-type: none"> 学科の強みの確立のためのコース変更及びマネジメント能力育成等の検討(教育福祉学科) <p>◆1-6:高学力層を対象とする教育プログラムを確立し、国際的リーダーレベルの学生を輩出する</p> <ol style="list-style-type: none"> オーナープログラムの運営管理および拡大展開に向けての検討・実施(グローバル教育推進機構) <p>◆1-7:学生支援体制の構築</p> <ol style="list-style-type: none"> 学内外での交流の場を通して多様化する学生の心理的サポートを強化(英語教育学科) <p>◆1-8:大学間ネットワークの構築</p> <ol style="list-style-type: none"> 一般社団法人学修評価・教育開発協議会の事業強化(評価センター)(高等教育研究開発センター) 	<p>◆2-1:グローバルスタディ(GS)に関係する現行科目の内容を深化、精度向上させる</p> <ol style="list-style-type: none"> グローバル化社会と安全・安心の社会に対応できる専門的職業人の育成(教育福祉学科) グローバルスタディの推進とプログラムの質の向上を図るための国際教養科目の設置(グローバル教育センター) <p>◆2-2:職員全体の国際コミュニケーション力を向上させる</p> <ol style="list-style-type: none"> 国際大学としての教職員・学生のグローバル意識向上と社会貢献(グローバル教育センター) <p>◆2-3:留学生受け入れ・送り出しを質的・量的に拡大する</p> <ol style="list-style-type: none"> 産官学と連携強化して交換留学生の派遣・受入数の増加と私費外国人留学生(国内・海外)の量的確保(グローバル教育センター)(アドミッションセンター) <p>◆2-4:既存提携大学との戦略的な交流強化、新たな連携先を開拓する</p> <ol style="list-style-type: none"> ACP(Asian Cooperative Program)を機軸とした東南アジア諸国における大学間連携強化と「安全・安心」教育科目を柱とした世界展開(グローバル教育センター)(セーフティマネジメント教育研究センター) <p>◆2-5:質保証や評価システムの国際的な標準化手法を共同開発する</p> <ol style="list-style-type: none"> ACP活動の評価(評価センター) 	<p>◆3-1:全学部における「安全・安心」教育専門科目の開講</p> <ol style="list-style-type: none"> 全学部における防災危機管理に関する専門科目の開講(全学科) 教職課程の新カリキュラム編成(教職センター) <p>◆3-2:防災士講座の全学部開講と年間防災士資格取得者数の拡大</p> <ol style="list-style-type: none"> 防災士講座の全学展開と防災士資格取得の促進(全学科) <p>◆3-3:KUIS BOSAIの創設、活動展開</p> <p>(セーフティマネジメント教育研究センター)</p> <p>◆3-4:「安全・安心」に係る「新資格制度」の創設</p> <p>(セーフティマネジメント教育研究センター)</p> <p>◆3-5:「安全・安心」教育活動への民間活力導入促進事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 防災士講座支援企業の拡大と防災関連企業等との共同研究の実施(セーフティマネジメント教育研究センター)(キャリア支援センター)
先進的教育を支える研究の推進	<p>◆4-1:『研究紀要』の充実および外部研究資金の獲得に関する支援(研究推進委員会)</p> <p>グローバルスタディ教育プログラムの共有と改善のための叢書への寄稿(多文化共生研究所)</p> <p>◆4-2:研究プロジェクトの活性化(教育総合研究所)</p> <p>研究所における研究充実に向けての支援(研究推進委員会)</p> <p>◆4-3:安全・安心社会を実現するための防災・減災・防犯研究の推進(セーフティマネジメント研究所)</p>		

第二次中期計画 アクションプラン
(大学)

手段	入口(学生募集)戦略の強化	出口(キャリア教育、就職支援)戦略の強化	
	<p>◆5-1: 地元の北播磨、阪神南地域での教育連携、地域連携。(教育委員会との連携、高大接続協議会活動等の活性化)とこれまでの実績を踏まえた戦略的重点地域(関西および地方)の指定校推薦等受験生確保活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セグメント別施策による高校戦略の推進(アドミッションセンター) 2. アドミッションポリシーに則った入試選抜方法の確立(アドミッションセンター) 	<p>◆6-1: 自己理解と社会理解を更に深化させるキャリア関連科目の内容改編</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キャリアプラン形成のためのシステム作りと就職支援対策(教育福祉学科) 2. キャリア関連科目の内容改編による学生の就職意識の向上(キャリア支援センター) 	
	<p>◆5-2: 海外・国内留学生の交換、受入れ促進(再掲)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産官学と連携強化して交換留学生の派遣・受入数の増加と私費外国人留学生(国内・海外)の量的確保(アドミッションセンター)(グローバル教育センター)(別科) 	<p>◆6-2: 一般教養や表現力・文章力養成などを含む基礎学力・リテラシー教育の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎学力を支援する体制の整備(学修支援センター) 2. ライティング力を支援する体制の整備(学修支援センター) 3. 第一志望の「出口」に結びつく学びの支援(人間心理学科) 	
	<p>◆5-3: 社会人学生の履修・資格プログラムも含めた受入れ促進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床教育学専攻の強み確立のための新履修モデルの設置(人間行動学研究科) 2. 人間行動学専攻に公認心理師養成課程の設置(人間行動学研究科) 3. 看護学研究科博士後期課程開設の検討(看護学研究科) 	<p>◆6-3: 実習を含むインターンシップへの参加率の向上 兵庫県、大阪府の優良企業(上場、規模関係なく)との関係強化(インターンシップ受入れを含めた連携の強化)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターンシッププログラムの改革および参加者の増加 防災関連企業等へのインターンシップ受け入れ拡大(キャリア支援センター)(セーフティマネジメント教育研究センター) 	
	<p>◆5-4: 進学情報誌、パンフレット、ホームページなど情報発信内容の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学科の魅力発信と募集戦略の強化(全学科) 2. 少人数教育、きめ細かい対応、学内外での交流を魅力として学生募集力を強化(英語コミュニケーション学科) 	<p>◆6-4: 地方自治体等との連携強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域ニーズを踏まえ、大学のシーズを活かした公開講座の充実(コミュニティ交流総合センター) 	
	<p>◆5-5: 高校訪問、オープンキャンパス等宣伝活動の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生募集における学生主体の活動推進(アドミッションセンター) 	<p>◆6-5: 卒業生、早期内定者を活用したイベント等の拡充を含む支援体制の体系化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 就職活動支援体制の強化による進路満足度の上昇および離職率の低下(キャリア支援センター) 2. 幼児教育・児童福祉分野への就職者の増加(キャリア支援センター) 3. ビジネスコンペでの入賞者を増やし就職に強い経営学科をつくる(経営学科) 4. 卒業予定学生・卒業生就職先・国家試験合格率からの卒業時の能力(DP)評価と学生の就職の実現とフォローアップ(看護学科) 	
	経営基盤の強化		
	<p>◆7-1: 学部学科の適正化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時代と状況の変化に対応した、設置学部学科の見直し(企画部) 	<p>◆7-4: 中長期保全計画による施設整備の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設・設備修繕・更新等の中・長期整備計画の策定・推進 ・先進的な教育手法を実践するための教室環境整備 ・学生の立場に立った大学施設の整備・充実 ・スクールバスの適正な事業運営 ・魅力あるキャンパスに向けた三木、尼崎、大物キャンパスのリノベーションプラン検討(総務部総務課)(教務センター) 2. 各部署の第二次中期計画の取組に関する広報および本学の特色を踏まえた効率的広報の推進(企画部) 	<p>◆7-6: ICT基盤の整備活用ならびにその他システムの強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高い操作性と強固なセキュリティ機能を兼ね備えたICT基盤の整備(メディアサポート部門) 2. 各システム間連携の強化による教育・研究・業務の効率化(メディアサポート部門) 3. 本学の先進的教育プログラムへのICTの活用促進 学修支援型メディアライブラリーの展開 電子図書館機能の充実(メディアサポート部門)(メディアライブラリー)
	<p>◆7-2: 財政基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質を確保しつつ学生数増につながる多様な施策の積極的検討と一部実施 ・補助金、寄附金等の外部資金確保策の推進 ・適正な教員数、事務職員数と人件費水準の検討と一部実施 ・経費削減施策の継続的推進 <ol style="list-style-type: none"> 1. 中期財務ローリング計画の策定・推進(総務部経理課) 	<p>◆7-5: 卒業生組織の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業生のニーズの把握とサービスの提供(学生センター) 	<p>◆7-7: 自治体、企業、地域との連携強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に貢献する大学として、また、学生や教職員の地域教育活動のため自治体等と一層の連携を図る(コミュニティ交流総合センター) 地域社会との有機的連携を視野に入れた各種調査・研究・実践(地域創成研究所) 2. 学生の成長に繋がるボランティアへのかかわりの見直し(コミュニティ交流総合センター)
	<p>◆7-3: 改革推進人財の採用・育成に向けた人事諸制度の整備と組織風土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「評価」を基軸に据えた総合的人事制度の構築 ・参画と実行を促す組織風土づくりの推進 ・意欲を活かす職場環境づくりの推進 ・FDとの連携・共同を含めた事務職員SDの推進 ・専門学校等を含めた人事交流の積極化 <ol style="list-style-type: none"> 1. 人員の適正化と中長期人員ローリング計画の策定・推進(総務部人財育成課) 		